

かんまき 第69号 2020.1

社協だより



おひさま広場のクリスマス

写真は12月11日(水)に開催されたおひさま広場(うさぎクラス、くまクラス合同)の様子です。おひさま広場は、ひよこ(0歳児)、うさぎ(1歳児)、くま(2,3歳児)の3クラスに分かれてふれあい遊びやリズム遊び、季節の行事など親子でふれあいながら充実した時間を過ごせるように開催しています。令和2年度の募集は来月のチラシをご確認ください。



目次

災害ボラセン運営スタッフ養成研修	・・・2
子育てサポーター養成研修等	・・・2
活動紹介(松里園ふれあいの会、ぷらっと)	・・・3
お知らせ(共同募金、ご寄附等)	・・・4

発行：社会福祉法人 上牧町社会福祉協議会
住所：上牧町上牧3245-1
TEL：0745-76-6098
FAX：0745-79-0895
URL：http://kamishakyo.web.fc2.com/

おしゃべり塾を開催します

障害を持つお子さんの親同士が日頃の悩みや困りごとなどを話し合う「おしゃべり塾」が今年も上牧町手をつなぐ育成会の主催で開催されます。同時に上牧町身体障害者協議会とぷらっとが共催する軽スポーツ交流会も開催されますので、親子で参加いただけます。詳しくは社会福祉協議会までお問い合わせください。
 日時：2月23日(日曜日) 13時30分～
 場所：2000年会館 会議室及び多目的室

災害ボランティアセンター 設置・運営訓練のご案内

社会福祉協議会では、上牧町が被災したときに備えて町内外からのボランティアの受入れと支援を円滑に行えるように災害ボランティアセンター設置・運営訓練を住民参加で実施しています。今年度は先にご紹介しました災害ボランティアセンター運営スタッフ養成研修修了者にもスタッフとしてご協力いただき訓練を実施します。



訓練にご参加いただける方は1月15日までに社会福祉協議会へご連絡ください。
 日時：1月26日(日曜日) 10時から12時
 場所：2000年会館
 問合せ先：社会福祉協議会 (76) 6098

共同募金のご報告

共同募金へのご協力ありがとうございました。令和元年度の共同募金運動はみなさまにたくさんのお暖かい善意をいただいた結果、12月7日現在で1,487,935円の募金が集まりました。みなさまからいただいた募金は奈良県共同募金会を通じて、上牧町内の地域福祉活動への助成や県内の社会福祉施設への助成に活用されます。共同募金運動にご支援、ご協力いただきましたみなさま及び関係機関のみなさまに厚く御礼申し上げます。
 今回の掲載出来なかった募金についてはホームページ等であらためてご報告いたします。

区分(団体名)	金額
戸別募金	1,158,600円
街頭募金	35,593円
職域募金	11,817円
学校募金※	22,087円
(社福)郁慈会	100,000円
奈良友誼会病院	100,000円
上牧町商工会	10,000円
募金箱等	49,838円

※集計が間に合わず掲載金額は上牧中学校と第三小学校のみです。

寄附のご報告

(令和元年9月20日～11月末日)

左記の団体よりご寄附をいただきましたのでご報告いたします。ご寄附をいただきありがとうございました(敬称略、順不同) いただいた寄附金は地域福祉活動推進のために活用させていただきます。

氏名(団体)	種別	金額
友が丘友愛会	一円募金	989円
明眼会		1,598円
滝川台ネットワーク	寄附	658円

広告

予期せぬ災害や万一の事故の際に
身近で頼りになる代理店をめざして

笑顔になる 保険選び

有限会社 **エナミ総合保険** 保険代理店
 東京海上日動火災保険株式会社
 東京海上日動あんしん生命保険株式会社
 ☎0745-73-8189 エナミ保険 検索



小地域ネットワーク活動紹介

ミニ文化祭（松里園ふれあいの会）

12月7・8日松里園公民館でミニ文化祭が行われました。地域住民の方々が日頃取り組んでいる趣味や手芸の腕を披露する松里園での恒例のイベントです。

入り口を入り受付には百合と印象的な菊の投げ入れがお出迎えしています。展示室に入れば幼児から人生のベテランまで多彩な作品が展示されていました。



幼児の硬筆作品からプロ顔向けの作品までひとり一人の内面が垣間見られる貴重な作品ばかりでした。

松里園ふれあいの会では、この時期になると文化祭実行委員会を立ちあげ様々な地域の関係団体の協力を得て開催しています。今まで出展されていた方が転出されたり製作活動をされなくなったりする事で出展作品を確保するために世話人さんは悪戦苦闘されていると聞きます。

しかし、このような文化的な催しが継続して開催され、地域の方の糧となればと思います。



ぶらっと活動紹介

～11月9日「やわらぎフェスタ in 斑鳩」～

このイベントは今回が初開催で、法隆寺青年会議所が主催となって西和7町の体験ブースや特産物ブースが設けられ、それらをとおして西和7町の魅力を再確認するイベントでした。会場は親子連れがたくさん参加していて、ぶらっとのメンバーもケーキ販売をとおして子どもたちと関わることが出来てとても楽しそうにいました。

また、会場ではスタンプラリークイズ形式で環境問題や社会問題への取り組みである「SDGs」について学ぶ機会も設けられ、参加者それぞれにとって環境問題を身近な問題として考え、すぐに始められることは何かを考える良い機会になりました。子ども達もクイズに答えて交換した金券を大事に持って各店を回ってお目当ての商品を選んでいました。ぶらっとの活動を上牧町以外の場所でも発信することができる良い機会になりました。



～11月23日「かんまきガーデン」～

2回目の開催となる「かんまきガーデン」では、子どもたちへのお仕事体験コーナーとして参加しました。今回は合計5名の子どもがお仕事体験に参加。ぶらっとのメンバーと同じようにエプロン・バンダナを着用して名札をつけて準備完了。最初は少し緊張している様子でしたが次第にメンバーとも打ち解けて、お話が弾んでいき「いらっしゃいませ！」や「美味しいケーキはいかがですか？」と上手に接客していました。

かわいらしい店員さんの接客とメンバーの頑張りのおかげで、ぶらっとのケーキは完売となりました。

かんまきガーデンに参加させてもらい、お仕事体験を通してメンバーと直接関わりを持ってもらうことでぶらっとの活動を身近に感じてもらうことができる良い機会になりました。



広域連携による支援者養成

近年、日本各地で毎年のように大規模な災害が発生しています。昨年7月の豪雨災害や今年10月の台風15号や19号による災害など、



今までには考えられないような範囲や規模の災害が起こっていて、上牧町でもいつ何があっても不思議ではない状態です。台風19号災害では東日本を中心に80万所を超える地域で災害ボランティアセンターが設置され、これまでに17万9千人を超えるボランティアが支援を行っていましたが、一部の地域では今もまだ支援を必要とする状態が続いています。

このような中、社会福祉協議会では平成22年の災害時対応マニュアルを策定し、もしもの際には災害ボランティアセンター（以下、災害VC）の運営等円滑な災害対応が行えるようにと毎年住民参加で災害VC設置、運営訓練を開催してきました。特に昨年度は台風21号による被災に際して災害VCを設置しボランティアによる支援を調整した阪南市社会福祉協議会より講師を招いて実践報告を行い、社会福祉協議会の職員だけでは災害VCを運営できないことや災害VC運営への



阪神淡路大震災から災害VCの運営援を行ってきた講師の栗原氏からは、過去からの流れや現在も支援に関わっている宮城県下で被災者支援など普段は余り聞くことの出来ない実践的なお話をいただき、参加者はみな熱心に耳を傾けていました。

の住民参画の大切さを学びました。その経験を踏まえて、企画されたのが今回の災害VC運営スタッフ養成研修です。北葛城郡4町の社会福祉協議会が合同で研修を企画し、41名の参加者ととも災害VCの役割や機能、なぜ社会福祉協議会が運営を担うのかなど講義とグループでの演習を交えながら学びました。参加者は現役世代からシニアの方まで幅広い年齢層で、何か手伝いたいと思っていただけ現場で活動するのは体力的に厳しいと感じていたのでスタッフとしてお手伝いしたいと思ったという方や、東日本大震災の際にボランティアとして災害ボランティア活動に関わりその経験を活かして少しでも円滑にボランティアの気持ちに届けるお手伝いがしたいという方など参加動機も様々でした。



子育てサポーター

11月25日に子育てサポーター養成講座を開催しました。

講座の前半は近年の「子育て環境の現状や課題」というテーマで帝塚山大学の石田慎二教授よりご講義いただき、後半はサロンぽけっとでの現場実習で実際のサポーター活動を体験しました。今回新たに誕生した6名の子育てサポーターには、サロンぽけっとでの託児や子育ての見守り活動にご協力いただきます。



ひきこもり家族のつらい

ご家族のひきこもりなどに悩んでいる家族がつながり、悩みや不安を共有することで少しでも元気になっていただきたい。そんな思いで11月から月1回のペースで、ひきこもり家族のつらいを開催しています。毎回10名程度の参加者がアットホームな雰囲気の中、参加者同士や臨床心理士とお話をしています。事前申込みは不要です。お気軽にご参加下さい。

日時等：1月9日、2月13日、3月5日
14時～16時（ささゆりルーム）